

佐野市立犬伏小学校



校長室だより

令和5年度 第7号
R5.6.1
館野 道明

「運動会の教育的価値」

5月27日(土)、さわやかな晴天に恵まれ、予定どおり運動会を実施することができました。今年度は、創立150周年記念として4年ぶりに全校一斉での運動会としました。PTA本部役員の皆様の多大なるご支援と来校して下さった方々のご理解ご協力のおかげをもちまして、滞りなく運動会実施できましたことを心より感謝申し上げます。

感染症や熱中症の心配もありましたが、1年生から6年生まで全員そろっての運動会は、やはり、にぎやかで迫力もあり、心躍る雰囲気にもまれていました。



今年度の運動会スローガン

「仲間とともに優勝めざして 全力 協力 一直線! 絆を深めて輝く未来を作り出せ!!」を体現すべく臨んだ運動会。お子さんたちは、自分たちの競技や演技に一生懸命取り組んだのはもちろんですが、他の学年の競技や演技を見学したり、応援したり、会場全体が一体となっていると感じる場面が数多くあり

ました。まさに、全校一斉の運動会を実施することの教育的意義を再認識いたしました。

5月の初め頃、6年生のある保護者の方から、「今年は騎馬戦をやらないのですか。」とたずねられたことがありました。「うちの子が低学年のとき高学年児童の騎馬戦をやっている姿を見て、ずっとあこがれていたのですよ。」とのことでした。運動会には、これほどまでに人の心を動かす力があるのだと思い知らされました。



残念ながら、騎馬戦をやることはできませんでしたが、高学年の綱引きや組み体操、よさこいソーランは、高学年としての力強さ、たくましさを表現できていたのではないかと考えております。また、その姿を見ていた下学年の児童は、あこがれや自分たちもやってみいたいという気持ちをもつことができたのではないかと考えています。

このように、下学年の児童は近い将来の自分たちの姿をイメージし、上学年の児童は過去の自分たちの姿を思い起こす、そんなことが同時に展開されているのが運動会であると思っています。来年度はどんな運動会ができるか、今からワクワクが止まりません。